

令和4年度第3回多摩市立学校給食センター運営委員会要点会議録

【日 時】 令和5年2月2日（木）

午後3時30分～午後4時15分

【場 所】 第2庁舎会議室

【出 席】 11名（欠席2名）

【傍聴人】 なし

配布資料：会議次第、第2回多摩市立学校給食センター運営委員会要点会議録(案)、学校給食費の改定について(案)、学校給食費の改定の算出根拠について（差替え）、令和5年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書(案)、令和5年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算に係る参考資料

1 議事

(1) 第2回多摩市立学校給食センター運営委員会要点会議録(案)の確認について

訂正や質問等なし（確定）。

(2) 学校給食費の改定について(案)

事務局から「学校給食費の改定について(案)」及び「学校給食費の改定の算出根拠について（差替え）」に基づき説明があった。

学校給食センターでは子どもたちに提供している給食の食材を購入しているが、物価の上昇が止まらない厳しい状況が続いている。今の学校給食費は平成26年度に改定してから食材価格が上昇する中、献立の工夫や物資選定による食材費の抑制など様々な努力で給食費を据え置いたまま続けてきた。ただし、飲用牛乳については令和2年度にパック牛乳からビン牛乳に変更したことで牛乳代金のみ改定している。

長引く経済情勢の悪化や原油高による価格高騰が続き給食に使う食材費も上昇が止まらず、今年度は国からの交付金を財源に物価高騰分を公費で負担しつつ何とか節減に努めてきたが、保護者からお預かりした学校給食費では今後やりくりができなくなりつつある。適正な献立内容を維持することが非常に困難で、学校給食費の値上げをせざるを得ない状況である。

については、物価高が進行している中、子どもたちにおいしく栄養バランスのとれた学校給食を安定的に提供するため、令和5年度から学校給食費を値上げし改定させていただきたいと考えている。

改定後の対応は、児童生徒の給食費については改定をするが、現在の給食費でご負担いただく予定である。令和5年度中については、児童生徒の給食費を対象に物価高騰分として値上げする部分を公費で負担する予算を計上している。3月の市議会で予算が認められれば、本年4月から公費負担をするので、児童生徒の給食費は現在のままで据え置くが、大人については公費負担の対象外となるので、改定後の給食費でご負担いただく。

改定金額は、小学校中学年3，4年生を基準として令和3年度と令和4年度の同じ月の価格の変動を、ごはん・パン・麺の3つの献立の1食当たりの価格で比較し増額分を算出、給食の摂取量は学年によって違うので、その摂取量に合わせ小学校中学年3，4年生を基準1とし、低学年1，2年生は0.9、高学年5，6年生は1.1、中学生は1.3の係数を乗じてそれぞれの金

額を出した。なお、毎日提供する牛乳については乳牛の餌となる穀物の価格高騰や配送費等の製造コストの負担増で200ml(1本分)の値段を5円値上げすることとなり、その分を加えて1食当たりの単価を出した。先ほど、3、4年生を基準にして、ご飯・パン・麺の献立を使って1食あたりの価格を比較したと説明したが、令和3年度と令和4年度1食あたりの単価を出し、現在、保護者よりご負担いただいている給食費の単価を比較、差額が△12円となり、さらに牛乳の値上げ分5円を加え、現在いただいている給食費から17円不足している結果となった。これが基準となる小学校3、4年生中学年で、学年による係数を乗じ牛乳分5円を足すことで、値上げ額を算出した。小学校1年生でみると、現在は、牛乳有りの場合1食単価241円で月額4,050円、年額44,550円、改定後は1食単価が256円となり、15円の増額、月額は4,300円、年額は47,300円、2,750円の増額となる。教職員は、小学校教諭は高学年と同じ、中学校教諭は中学生と同じ改定となる。先にお話ししたとおり、児童生徒については、改定しても現在の給食費を据え置いたままでご負担いただく予定である。一方、大人である教職員やセンター職員は改定後の給食費でご負担いただく予定である。

スケジュールは、大変急でタイトなスケジュールとなったことをお詫びいたします。今回の改定については重要案件であるため、本日の運営委員会で審議いただき、さらに次の2月10日開催予定の運営委員会でご承認いただきたいと考えている。なお、給食費会計の来年度予算(案)については、この後、ご審議いただくが、次回の委員会で、給食費改定のご承認をいただいた上で答申をいただきたいと考えている。その後、2月20日の教育委員会で報告させていただき、給食費の規則改正の手続きに入る。3月末には市議会で令和5年度の予算が審査され、予算が認められれば児童生徒の給食費の公費負担を実施する予定である。

【委員】 物価がどんどん上がっている状態で、この先も上がり続けるかはわからないが、この増額で足りるのか。またすぐに給食費を上げることになる可能性もあるのではないかと。

【事務局】 今回改定させていただき給食費は、改定が承認されたら当面の間はこれまでと同様に献立の工夫や節減の対応を行う。さらに改定することは現在のところは考えていない。

【委員】 現行でお金のストック分があまりない状況で、今年度は国からの交付金を使うことでどうにかやりくりしたが、それもどのくらい残るのか見えない。物価高騰もあり、これからもっと上がっていくかもしれないので、17～20円程度の増額で足りるのか疑問である。

【事務局】 引き続き物価高騰対策による公費負担ということで、市の方へ予算計上させていただいている。年間を通してどれくらい残るのか、どのくらいやりくりができるのか見通しが立てにくい状況にある。しかし、これまでと同様、献立の工夫や食材費の抑制をしてやりくりをしていきたい。ただ、現在の給食費では厳しい状況であるため、今回、改定をさせていただきやりくりをしていきたい。

【副会長】 他に質問等なければ、本日の審議はここまでとし、事務局から説明があった通り、次回2月10日の運営委員会にて再審議を行い、承認するかたちで進めていく。

(3) 令和5年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書(案)について

多摩市立学校給食センター給食費会計要綱第7条に基づき、教育長から多摩市立学校給食センター運営委員会に対して、令和5年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書(案)に関して諮問を受けたため、学校給食センター長から副会長へ諮問書を渡し審議をお願いした。

事務局から「令和5年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書(案)」及び「令和5年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算に係る参考資料」に基づき説明があった。

収入の部について、令和5年、本年度予算額は、学校給食費の現年度、5億2,918万3千円、過年度は213万9千円で計5億3,132万2千円である。諸収入は4,950万6千円とした。収入合計は5億8,082万9千円となる。今回、給食費の改定をご審議いただいているところだが、教職員の分は給食費が増額となる見込みで、児童生徒の分は現在の給食費のままであるが、その増額分は給食費ではなく公費の負担となる見込みのため諸収入に組み込まれている。

前年度補正後予算額は昨年、ご承認いただいた令和4年度の補正後の予算額で、学校給食費の現年度、5億3,051万4千円、過年度は224万6千円、計5億3,276万円であり、比較すると令和5年度予算額は現年度で133万1千円減っている。

令和5年度の予算の見通しをたてた結果、令和4年度と比べて児童・生徒・教職員を含めて全体的に人数、延べ喫食数が減っているため、先ほど説明した教職員分の給食費が値上がりし予算増となっているが、トータルとして約133万減った予算となっている。また、諸収入の予算で減っているのは学校給食費公費負担金で、令和4年度は国からの交付金を財源に3,457万円の負担をしているが、令和5年度予算で計上している額は3,277万3千円であり、179万7千円減っている。

支出の部は、先ほどの収入合計と同額の5億8,082万9千円で予算を組ませていただき、給食物資食材を購入させていただき予算となっている。

次回の委員会で、給食費改定のご承認をいただいた上で答申をいただきたいと考えている。

【委員】 質問等なし。

【副会長】 質問等なければ、本日の審議はここまでとし、事務局から説明があった通り、次回2月10日の運営委員会にて再審議を行い、採択を行うこととする。

2 その他

【事務局】 10月に実施した試食会について、ご参加いただいた委員から感想等を伺いたい。

【委員】 感心したことは、センター長と所長がきちんと違うメニューを全部試食して毎日、日々記録に残していく作業をしていること。ある意味食事というのは私たちにとって楽しみの一部であり、休憩の時間が食事の時間であることが多いが、センター長、所長にとっては食事の時間も仕事の一部であるということ、それが毎日続いていくということも大変なご苦労だなと感じた。そういうことを含めて大学のホームページで報告させていただいている。

【委員】 私は子どもが小学校1年生の時、学校で試食して、その時に小学校のご飯はすごく少

ないのだなと思ったが、今回の試食会では中学生の量をいただいて、家ではできないほどの細かい配慮がされていてとても美味しいものを食べさせていただき本当に感動した。それを学校に戻って、PTAの会議の時に校長先生、副校長先生もいる場でお話をさせていただいたところ、学校でも「こんなにおいしいものを食べているのだから、もう少し給食委員会とかで残りを減らそうというキャンペーンを始めました」ということを仰っていただいた。家で子どもにその話をしたら、普段は反抗期だが「家のご飯は残すけど、学校のご飯はお替りをしてきた」と言って、とても張り切って学校の給食をいただいています。

【委員】 うちの子は高校生になったので、現在は給食を食べていないが、試食会の献立をいただき見せたところ「これがいいよ～」と言われて、屋外用の給食を食べさせていただいた。これまで魚系のものをいただくことが多かったが、初めてお肉とおにぎりを食べさせていただいた。お肉はちゃんと噛んで食べないといけなし、ちゃんと味わえることもあり、これまでの私の学校給食のイメージとはちょっと違い、屋外用というものあってすごく楽しいなと思った。委員を長くさせていただいている中で、給食の残量の多さが課題になっているので、もっと減らせたらいいのにとずっと思っていた。給食時間との兼ね合いもあると思うが、先生がもっと「おいしいんだよ」と訴えてくれるような動きがあれば、子どもも「ちょっと食べてみよう」と小学校の場合はなと思うし、中学校の場合だと食べる子は食べる、食べない子は食べないというように分かれると思うが、今は新型コロナの影響で黙食になっているが、もっと楽しく食べられるとよいと思う。何か学校側での動きがあれば変わるのではないかと思う。

【委員】 試食会を開催していただきありがとうございました。子どもたちに普段提供している給食を実際に食べることができて、給食センターの雰囲気も見ることができて、栄養バランスはもちろん、味もすごく美味しく、子どもが好きそうなガーリックトーストの日だったが、子どもが好んで食べるような味付けに工夫されているというのがすごく感動した。調理で使用した回転釜をすごく長時間何度も何度も洗って汚れを取っているのを拝見できて、衛生管理も徹底しているというのもわかりました。おいしく栄養バランスもとれて安全という給食が提供されていることが今回改めて知ることができ、いい機会を与えてもらった。大学の授業で、写真を学生に見せて説明をさせていただいた。

【事務局】 今回試食会を開催させていただき、給食のことセンターのことを知っていただけたと思う。皆様のお話をお聞きして、とてもよい機会になったのではと思っている。今日は栄養士が不在だが、毎月色々と工夫しながら献立を作成しているので、今日いただいた意見等を栄養士とも共有し、次からの励みにしていきたいと思う。今後も給食を食べていただく機会を設けられればと思う。先ほどPTAの話があったが、PTAの方からお話をいただければ、こちらから出向いて試食会の対応をさせていただくこともできる。貴重なご意見ありがとうございました。

【委員】 本日、給食費の改定の提案を事務局からさせていただくにあたり、非常に私共も悩み、特に給食センター長以下、いくら上げればいいのか、繰り返し検討を行ってくれた。また、説明の資料も事前に何回か調整をしたが、皆さんに分かり易く説明できるようにと

資料を作ってもらった。この後、市議会で公費負担する分を、国の国庫負担は来年度はないので、市費で負担することになる。ぜひ、もしお時間が許せば、今日は特段ご意見がなかったが、給食費が上がるということは家計を直撃することになるので、市あるいは教育委員会の考え方として、令和5年度は各家庭にご負担を求めないということと考えているが、未来永劫というわけにはいかないのではないかと思います。今日、複数の委員からいただいた値上げの幅というのが見通せない状況であり、新聞等では、4月にまた1、2段階、原材料費等が上がって行くような報道がされている。ただ、今日の給食センターからの提案は現時点で把握できているものであり、見込みで上げることはできないため、手元にあるデータから積み上げて給食費の改定を提案させてもらった。

今日この場では難しければ、次回ぜひ、各委員から厳しいご意見も含めていただきたいと思う。それをもって我々は教育委員会にも市議会にも運営委員会でこういう議論があったということを伝えていきたいと思うので、ぜひ資料の方をご精読いただきたい。

また、今年度は動きがなかったが来年度以降、給食センターの改築に向けた動きが出てくる。今週、福生市の防災センターと給食センターを合築している、給食センターが災害時には市民の食を支えるセンターになるということで改築したセンターを私も含め給食センター職員で見学してきた。ご報告も含めてこれからどう進めていくのか、次年度の運営委員会でご審議いただくことになると思う。

今週、来週と続けての運営委員会で恐縮であるが、ぜひよろしくお願ひしたい。